

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	教育技術演習	
科目基礎情報							
科目番号	0027			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	海上輸送システム工学専攻			対象学年	専2		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	初回のみ資料を配布する						
担当教員	佐久間 一行						
到達目標							
本演習では、本科低学年の補習、学生実験、公開講座などのアシスタントとして指導する経験を積むことにより、自身の総合的な学習経験を活かした教育技術、コミュニケーション能力、ならびに企画を円滑に実行する計画性の向上を図る。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
教育技術	主体的に教育技術を高めることができる			指導の下で、教育技術を高めることができる		必要な教育技術を理解できない	
コミュニケーション能力	主体的に指導の補助にあたることができる			指導の下で、指導の補助にあたることができる		指導の補助にあたるができない	
計画性	主体的に円滑な運営立案ができる			指導の下で、円滑な運営のために貢献できる		円滑な運営のために貢献できない	
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 A2 教養 B1 教養 B2 教養 C1 教養 C2 教養 C3 専門 E3							
教育方法等							
概要	本科低学年の補習、学生実験、公開講座などのアシスタントを通じて教育技術を学ぶ。専攻科二年間を通じて合計30時間演習に参加することにより、二年後期において単位が認定される。						
授業の進め方・方法	履修者は、本科低学年の補習、学生実験、公開講座などを担当する教員（現場担当教員）との相談により演習の実習内容を決定する。						
注意点	期末ごとに教育技術演習活動確認書と同報告書を、現場担当教員に提出すること。1 単位当たり15時間の自学自習を必要とする。						
実務経験のある教員による授業科目							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンスと教授法に関する講義		教える際の注意点が理解できる		
		2週	アシスタントとしての実習（2-30週目）		アシスタントとして活動できる		
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	成果物実技	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100
知識の基本的な理解	0	0	20	0	0	0	20
思考・推論・創造への適応力	0	0	20	0	0	0	20
態度・志向性（人間力）	0	0	20	0	0	0	20
リーダーシップ・コミュニケーション力	0	0	20	0	0	0	20
チームワーク力	0	0	20	0	0	0	20